

(件名)

## 令和元年度風水害対処訓練の実施結果

(危機管理部 危機対策課)

### 1 要旨

平成 28 年 8 月の台風 10 号の豪雨による岩手県小本川での被害や、平成 29 年 7 月の九州北部豪雨の被害、平成 30 年 7 月豪雨の被害など、近年、大規模な風水害が毎年のように発生している。

県では、河川の氾濫に社会全体で備える「水防災意識社会」の再構築を目指して、関係市町や国と連携し、減災目標の達成に向けた効果的、効率的な取組を進めている。

その取組の 1 つとして風水害対処訓練を実施しており、今年度は大規模な風水害が発生する場合を想定し、事前配備体制（情報収集体制・警戒体制）から警戒本部設置体制への体制切替等の確認、関係機関との情報連絡体制の確認を目的として実施した。

### 2 概要

(1) 実施日時 令和元年 8 月 8 日（木） 9:30～11:45

(2) 会場 静岡県庁危機管理センター（静岡県庁別館 5 階東側）

(3) 参加者 50 名

ア 県機関 危機管理部（部内各課、各地域局）、交通基盤部（河川砂防局）

イ 国機関 静岡地方気象台

(4) 主な訓練内容

ア 事態の推移に応じた本部・方面本部の設置判断及び体制切替手順の確認

イ 事前配備に不慣れな職員を主な訓練対象とすることで危機管理部としての対処能力の均一化を図る

ウ 各種情報による危険度の認識と判断材料となる情報の見極め能力及び積極的な情報収集能力の向上

エ ふじのくに防災情報共有システム（FUJISAN）等を用いた情報伝達体制の習熟

### 3 想定

本州南岸に発達した梅雨前線が停滞し、県内各地で記録的な大雨となっている。

低地での浸水が徐々に発生し始める一方、河川の水位も刻々と上昇しており、県内各地の河川では氾濫危険水位に到達し、外水はん濫による浸水害の発生も危惧される。

気象警報	県内に大雨特別警報
想定災害	県内河川において氾濫危険水位到達等
対象市町	県内市町

### 4 訓練結果

情報整理、関係機関との連絡調整、迅速かつ的確な情報伝達等を行い、県の防災体制の移行や自衛隊及び警察への支援要請のタイミングや手続きについて確認することができた。事前配備に不慣れな危機管理部新任職員及び事前配備当番遠距離要員の職員を中心に班構成をしたことから、対処能力の向上が図られた。

### 5 訓練当日の様子

